韓国・順天大学からのレポート

教育文化学部　宮嶋　トナミ

〇留学先：韓国　全羅南道　順天市　順天大学　社会福祉学部

〇留学期間：　2010 年 8 月下旬　～　2011 年　7 月下旬（前期　 3 月～6 月、後期　9 月～12 月）

〇生活費：
・渡航費…往復 8 万円（1 年のオープンチケット、成田→釜山）

・生活費（1 ヶ月）…6 万ウォン（5 万円）
　寮費（食事付き）…3.5 万ウォン（3 万円）
　その他…2.5 万ウォン（2 万円）
　　学内のジュース 1 本…500 ウォン（40 円）、食堂…6000 ウォン（500 円）

〇寮の環境：
2 人部屋（2 段ベッド、机各自一個、クローゼット小）2 人部屋が同じフロアに 3 つあり、6 人でシャワー、トイレ共同。 シャワートイレ洗面台は広いが、ユニットバスに近い形。
テレビは休憩室に。洗濯機は 30 分 100W。

〇大学のサポート状況：
チューターという制度はないが、buddy program といって韓国人 2 人に留学生 3 人がグループになり、予算をもらって、学習・文化体験を週に 2 回行うという制度があった。週 2 回といっても、実際はグループによって行う頻度は違う。私の場合は宮崎大学に留学していた学生さんが buddy だったので、銀行の口座を作る時や携帯電話を作る時は助けてもらった。
事務の先生には受講登録や履修の相談に乗ってもらった。外国人登録などの事務手続きも、事務室がやってくれる。日本語が通じるうえに、とても親切なので、不安に感じることはほとんどなかった。ただ、留学生への告知（寮や外国人食堂のについて）は英語と中国語で告知されるので、友達に聞くなどして、こまめに情報収集をすることも大事だった。

〇授業の様子：
語学と日本語関係の授業を受けている。
韓国語の授業は午前か午後に一日 4 時間ずつある。進みがとても速く、宿題も多いが、先生方は本当に親身になって教えてくれる。韓国語のクラスには、順天大学入学を目指す私費留学生（高校卒業後、韓国に来た）と交換留学生がいるが、学生によって、勉強に対するスタンスは結構違う。日本語の会話の授業や日本のアニメの授業を見学するのも、面白かった。イーラーニングを使った授業や発表をする機会もあった。

〇他の留学生たちの様子：
日本人は自分ひとりだけだった。（日本人と韓国人のハーフで正規の学生さんはいる）交換留学生や私費留学生の殆どが中国人で（全体で 100 人程度）、大学院を中心にフィリピン人・ベトナム人など英語を喋る人々が来ていた。院生は韓国語を使わないので、ルームメイトとのコミュニケーションは英語で取る。基本的には同じ言語の人で固まる事が多い。掃除当番など、細かな点で、問題が起こることもあった。

〇現地学生との交流:
　日本語学科の学生さんを先生に紹介してもらった。また、日本語会話の授業などを聴講していたので、そこからも知り合いが増えた。日本や日本語に興味を持っている人のほうが、やはりコミュニケーションは取りやすいし、話を聞いてくれる。また、韓国語の先生に、教会で現地の学生さんを紹介してもらった。そこから友達の友達、というように少しずつ友達の輪を広げていった。
　日本語を勉強している学生さんなども多く、困った時は助けてもらえるが、日本に関する間違った情報や文化の違いで上手くいかないこともある。学校の授業で、日本人は友達の間で「さようなら」をあまり使わず、長い間会わなくなる時にしか言わない、と学んだ友人が、私が「さようなら」と言った事で「この人はもう私に会いたくないのでは？」と勘違いしたことがあった。

〇街の様子:
　バスは市内一律 1100 ウォン（100 円）で、それに乗れば、大きめのデパートに行ける。学校の周辺は食べ物のお店やカラオケなどが多い。学内にコンビニや文房具屋があり、困ることはない。

〇その他:
　退職後に大学へ来て日本語を学んでいる元小学校の校長先生を紹介してもらい、短い間ホームステイをさせてもらった。日本人の交換留学生が 1 人ということで、何かと便宜を図ってもらっている。

▲　Buddy Program

▲留学生旅行で中国人のクラスメートと